

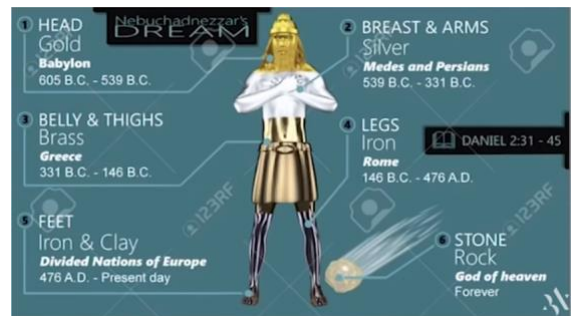


Amir Tsarfati

[聖書預言の中のフィリピン]

フィリピンの役割についてお話する前に、少し、皆さんの目をイスラエル・中東から西ヨーロッパに移してたいと思います。そして、反キリストは確かに西ヨーロッパから出る、と私が個人的に信じる理由を再度お伝えたいと思います。その理由は三つあります。ダニエルはいくつかの幻を見ましたが、

- ① その一つは、最後に支配する帝国についてで、それは鉄と粘土で出来た像の足でした。そして、石がその足を打ち砕きます（ダニエル 2:31~45 参照）。イエスは、石でしたかね？
- ② 二つ目は、ダニエルが別の幻で見た獣です。（ダニエル 7 章）。その頭には 10 本の角があって、その内の 3 本は引き抜かれ、新しく出てくるもう 1 本の角は、大きな事を語り、神を冒涇します。これもまた、反キリストの描写です。世界中で、具体的に 10 の部族から成り、その内の 3 つが現在存在していない地域は、西ヨーロッパです。



- ③ それだけでなく、ダニエル書 9 章の 70 週の幻で、主がダニエルに語られました。これもまた、私が聖書預言に感動する理由の 1 つで、預言者は預言者に敬意を示しているのです。こんにちとは大違いです。現代の預言者たちは互いにいがみ合っていますが…。だから私はいつも言うのです。「私は『預言者』（プロフェット・Prophet）ではありません。私は『ノン・プロフィット団体』（NPO: 非営利団体・Non Profit Organization）の者です。」（笑）ともかく、ダニエルは 9 章でエレミヤの預言（書記注: エレミヤ書 25:11~12）を神に感謝しています。面白いと思いませんか？ダニエルは、聖書預言を勉強していたのです。ダニエルは、エレミヤを通して約束されたことを調べていたのです。9 章 2 節をご覧ください。

2 すなわち、その治世の第一年に、私、ダニエルは、預言者エレミヤにあった主のことばによって、エルサレムの荒廃が終わるまでの年数が七十年であることを、文書によって悟った。

（ダニエル 9:2）

ダニエルは、エレミヤの預言を認識したのです。彼は預言を学んでいました。彼は、時代と季節を理解していたのです。彼は、ユダヤ人がバビロンで 70 年間過ごすということを聖書が告げていて、その 70 年の終わりが近づいている事に気づいたのです。そこで彼はワクワクしました。それから、ダニエルはワクワクしながら言ったのです。

「主よ。この 70 年の終わりが楽しみです！」

すると、神はこう言われました。

21 すなわち、私がまだ祈って語っている時、私が初めに幻の中で見たあの人、ガブリエルが、夕方のささげ物をささげるころ、すばやく飛んで来て、私に近づき、

22 私に告げて言った。…

(ダニエル 9:21~22a)

想像できますか？ガブリエルがダニエルの前に姿を現したのは、これで二度目です（一回目は8章）。歴史全体で、ガブリエルが姿を現したのは、あと二回です。皆さん、おぼえているでしょうか。後にマリヤに現れます（書記注：ルカ 1:5~20、1:26~38）。ということで、ガブリエルがダニエルの前に現れました。そして前に立って、こう言いました。

22 …「ダニエルよ。私は今、あなたに悟りを授けるために出て来た。…

(ダニエル 9:22b)

ダニエル。皆さんは、「彼は預言者だから何でも知っている」とお思いでしょうが、ダニエルは、神がこれから、バビロンでの70年よりもはるかに大きな事を告げようとしているとは、知らなかったのです。そのために、ガブリエルはこう言ったのです。

「ダニエルよ。私は今、あなたに悟りを授けるために出て来た。…」
それから彼はこう言いました。

23 あなたが願いの祈りを始めたとき、一つのみことばが述べられたので、私はそれを伝えに来た。…

(ダニエル 9:23a)

面白くないですか？神は皆さんの心をご存知ですよ。あなたが、神をととも愛していることを示すために、高貴で美しい言葉を使う必要はないのです。神は、あなたの心を見ておられます。ダニエルが願いの祈りを始めた、まさにその時に、神は既に命じておられるのです。天国は、民主主義ではありませんよ？神が軍の最高司令官で、神が命じれば、それは命令です。そして、ガブリエルは言いました。

23 一つのみことばが述べられたので、私はそれを伝えに来た。あなたは、神に愛されている人だからだ。そのみことばを聞き分け、幻を悟れ。

(ダニエル 9:23b)

彼は言いました。

「ほら、ダニエル。神はあなたを本当に愛しておられますよ。何でだか分からないけど…でも、あなたが祈り始めた瞬間に、神は私を呼ばれました。そして、あなたに渡すようにと、私にメッセージが与えられた。それも、ただのメッセージではなく、あなたがそれを悟るためのメッセージですよ。」

そこでダニエルは「ワオ！」と驚き、ガブリエルは言います。

「ダニエル。バビロンでの70年間の事はもう忘れなさい。これから、70週について教えるから。」

24 あなたの民とあなたの聖なる都については、七十週が定められている。

(ダニエル 9:24a)

それから、何が起こるかを告げました。メシアがどのように殺されるのか。そして、26節、

26 …やがて来たるべき君主の民が町と聖所を破壊する。…

(ダニエル 9:26 中盤)

彼は、軍隊について告げています。世界のある特定の場所からそれが送り込まれて、都と至聖所を破壊する、ローマ帝国です。その君主が、いずれ70週目にやって来る、と。そして、その同じ人物が、

27 彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物とをやめさせる。荒らす忌むべき者が翼に現れる。ついに、定められた絶滅が、荒らす者の上にふりかかる。

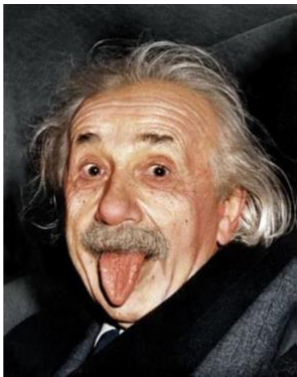
(ダニエル 9:27)

彼は、西暦 70 年にエルサレムを滅ぼした民と、70 週目、最後の 7 年、大患難時に来る者とを区別しませんでした。同じ所、同じ地域です。私の初めのメッセージで、ヨーロッパについて語りましたが、その時に、ヨーロッパはもう準備が出来ている事、ヨーロッパは文字通り、これまでのどの帝国とも違って、バビロンを自身の領土に持ち込んでいること



欧州議会の建物（左）と、欧州連合議会の獣に乗った女（エウロペ）の像（右）

をお伝えしました。さらに、ストラスブール（フランス）にある欧州議会は、バベルの塔に似せて建てられています。彼らはそれを認めていますし、実際彼らは、それを誇りに思っているのです。ブリュッセル（ベルギー）にある欧州連合議会の外には、獣に乗った女の像が立っています。



アルベルト・アインシュタイン

これについては、もうお話したと思いますが。前回、このお話をしてからどうなったか、また、近い将来に予測される事についてもお話しましたね。私が、初めて世界統一政府についてメッセージしたのは、この教会です。皆さん、覚えていらっしゃいますか？あのメッセージの前、私は一週間全く眠れませんでした。そして、きっちりとスーツを着て、それから…あのメッセージの間中、私がどれほど苦しんだか、皆さん、ぜひ見てください。アルベルト・アインシュタイン（書記注:1879～1955. ドイツ生まれの理論物理学者。ノーベル物理学賞。量子力学および相対性理論）は次のように言いました。

「少数派、現在の支配層は、学校、メディア、また多くの場合教会までも、自分たちの思いのままに従わせている。そうして大衆をまとめ、感情を揺さぶり、彼らの道具とするためだ。」

1930 年代～1950 年代のユダヤ人科学者による、非常に興味深い観察ですね。非常に小さな少数派の集団が、最も大きく、最も影響力のある機関を使って世界を支配、もしくは支配しようとする動きがあることを、彼は既に察知していたのです。つまり、西ヨーロッパや北米を主な拠点としている国際銀行や、実業家の連合です。彼らの名前は、恐らく皆さんも聞いたことがあるでしょう。ロスチャイルド、モルガン、ラザード、ボルボ、シュローダー、その他中国の名前もありますよ。皆さん、驚かないでください。シュローダー、その他中国の名前もありますよ。こういった人たちは、もはや隠れもしません。彼らは、自分たちの役割を自分で証言しているのです。デイヴィッド・ロックフェラー（書記注:1915～2017 アメリカの銀行家。実業家。ロックフェラー家第三代当主）は、自身の著書「Memoirs」（2002 年）の 405 ページで次のように書いています。



デイヴィッド・ロックフェラー

「我々ロックフェラー家が、アメリカ合衆国の最大の利益に反して働く、秘密結社の一員だ、とまで信じている人もいるようだ。私や、私の家族を、国際協調主義者と特徴づけ、我々が世界の他の者と陰謀を企んで、統一された世界的な政治と経済構造、いわゆる世界統一を築き上げようとしている、と。もし、それが罪状なら、私は有罪であり、私はそれを誇りに思う。」

彼はもはや隠しもせず、自分は秘密結社の一員だ、と言っているのです。5、6 日前に、FBI の内部の秘密結社の E メールがリークされましたね。ドナルド・トランプが大統領に選ばれた瞬間に、仕組まれた計画、彼を引きずり降ろすための秘密結社の企みです。あれは、受け入れられない事だったからです。彼は、当選しないはずだったのです。興味深いのは、そのロックフェラーが、ドイツのバーデンで行われた非公開会議で、次のように発言したのです。

「これまでは、我々がメディアの光にさらされるなら、我々の、世界に対する計画を展開するのは不可能だった。しかし今や、世はもっと洗練されており、世界統一政府への突入に向けて準備が出来ている。知的エリートと世界銀行の超国家主権は、過去の時代には、確実に民族自決の慣習を好んだだろう。」

つまり、彼が言っているのはこういうことです。

「我々、銀行や実業家、エリートの少数で世界を支配するべきだ。以前なら、光の下でこの全策略を練ることは出来なかったが、今はメディアやソーシャルメディアが至るところにいて、隠れられない。それなら良い。前進しよう！」



ラリー・マクドナルド

アメリカのある議員が、この計画について知りました。ラリー・マクドナルド議員（書記注:1935~1983 アメリカ民主党下院議員）は実際、次のように発言しています。「ロックフェラーと彼らの味方を駆り立てているのは、超資本主義と共産主義が同じ覆いの下、彼らが全てを支配する世界統一政府の創設だ。陰謀論かって？その通りだ！世界規模で、何世代にもわたって計画されてきた。恐ろしく悪意ある策略が起きていることを、私は確信している。」

そこで、彼らは、彼をどうしたでしょう？

彼を殺しました。彼はソビエト連邦によって撃墜された、大韓航空機ボーイング 747 型機（書記注:007 便）の中で死にました

（書記注:1983 年 9 月 1 日に、大韓航空機がソ連の領空を侵犯したために、ソ連防空軍の戦闘機により撃墜された事件。乗員乗客 269 人全員死亡と Wikipedia にはある。）



大韓航空機撃墜事件の航路

とても興味深いのが、皆さんは祈りの力を信じていますか？祈りの力を信じているという方は、どれくらいいますか？では、皆さんは、義人の祈りは、働くと大きな力があることを信じていますか？ただの祈りではなく、義人の熱心な祈りは効果的で、大きな力があるのです。OK? では皆さんは、ご自分の中に聖霊が宿っている、と信じますか？皆さんは、聖霊の名前の一つが「引き止める者」であることを理解されていますか？ご存知ですか？この世に聖霊の存在がなければ、地獄の火蓋が切って落とされます。いったん、私たちがここを出て、聖霊がここを去れば、それは起こりますよ。事態は動きます。しかし、皆さん、アメリカで祈りの力が証明されました。彼らは、あの 8 年間と同じ、グローバル化のスピリット、世界統一政府のスピリットが、あと 8 年続くと確信していたのです。そこへ、世界中の何百万人という人々の祈りが起こり、突然、大勢が、ただ祈るだけでなく、投票に行ったのです。そして、ドナルド・トランプが大統領になった事によって、グローバル化、世界統一政府、NWO（New World Order:世界新秩序）を推し進めていた動きは、激しい後退に苦しみました。



オバマ第 44 代米大統領 (左) と
エマニュエル・マクロン仏大統領 (右)

そこで、彼らの舞台は——彼らがしたことは、こうですよ。舞台はヨーロッパに戻らざるを得なくなったのです。ヨーロッパ、とくにドイツは、これが始まった場所です。あちらで、「啓発された者」運動の策略が起こりました。皆さんは、恐らくこれを「イルミナティ」と呼んでいるでしょう。これがその始まり、そして、それが継続されている様子です。興味深い事に、ロックフェラー氏が、そこでの継続について、ドイツで演説を行なっています。ヨーロッパに逆戻りして、また面白い事に、トランプが大統領選でロシアと共謀した、と彼らがトランプを非難している点です。トランプが当選して、彼らは自分たちの目的のためには、ヨーロッパを取り戻さなければならないと気づいた時、マクロンをフランスで当選するようにと手配するため、オバマが送られたのです。

これに関して、FBI の捜査が行われた様子はありません。しかし、これを行うことによって言えるのは、アメリカを世界政府の場所として仕立てるはずだった、グローバル化の有名後援者を送り込むことによって、今やその動きはヨーロッパに戻りました。

「これを、どうにかして実現しなければ！」

「この場所から、なんとしてでもメシアを生み出さなければ！」

と。そして、マクロンが勝った時、彼らがしたことを見てください！人々が溺れる中、男（マクロン）が水の上を歩いているのです。そして、彼らは問うています。

「彼が、ヨーロッパの救世主なのか？」

言っておきますが、誰かに水の上を歩かせる時、彼らの頭の中にあるのは、ヨーロッパだけではありません。



エコノミスト誌表紙

興味深いのは、“世界統一政府”思考の人たちは、今や、ヨーロッパをその場所だと見えています。そして、彼らの行いを見てください。非常に興味深いですよ。まず、メシアを出すには、危機を創りださなければなりません。危機を創り出せば、希望と解決策を差し出せるからです。ところで皆さん、New York Times は

「オバマがアラブの春を急発進させた」（“Obama jump-started Arab Spring” :2013 年 3 月 18 日付）

と、自ら報道しました。非常に興味深いですね。オバマは 2009 年 6 月、はるばるカイロまで行って、イスラム大学での演説で、アラブ界に向かってこう言いました。

「出て行って、自由、民主主義のために戦え！」

基本的には、周りのすべての政権をはばんだのです。そして、それらはすぐに次々と崩壊し始めました。始まりはチュニジアでしたが、それはアルジェリアから始まり、はるかエジプトにまで及び、イエメンや周辺の国まで続きました。ところで、こうしてシリア内戦は始まったのですよ。リビアや他の場所の話ではなく、シリアの地域だけで 60 万人が死亡している、あの戦争ですよ。あれは、アラブの春への“希望”が原因で始まったのです。アサドは、それが自分の国で起こることを非常に恐れ、公共の集会で何かを言う者には、誰かれ構わず殺し始めました。そしてその時に、暴動が始まったのです。

とても興味深いのは、私が用意したこの地図を見てください。グローバリストは、アラブの春を急発進させるためにアメリカ大統領を送り込みましたが、彼に分らなかったのは、彼がしたことによって、二つの異なる事態を創り出したということです。

① アラブの春によってシリア内戦を引き起こし、そのため、ロシア、イラン、トルコが内側に入り込みました。

これは、中東での戦争の備えです。

② そして同時に、ヨーロッパに大きな移民危機を生み出しました。そのため、ヨーロッパ人は、救世主による救いを求めているのです。

面白くないですか？彼らは、自分たちの企みが全て神の計画に大きな役割を果たした、なんて全く分かっていないのです。しかし神は、本人たちが何かを言う前から、世界の指導者たちの心をご存知です。モーセが神から告げられた時——

「モーセよ。わたしはあなたをパロの所へ遣わす。あなたは彼に、イスラエル人を解放するように命じるのだ。しかし、彼はそれが気に入らない。」（出エジプト 3～14 章参照）

モーセは、パロの前に行きもしないうちから、既にパロが何と言うかを知っていました。なぜなら、神がモーセに明かされたからです。ですから、世界の指導者たちも、彼らがこのような態度に出ることを神はご存知だ、という事を知りません。神は、全てをご存知ですから。これが、聖書預言を学ぶことの素晴らしいところです。あなたがたは、彼らが何かをする前から、彼らが何をするのか分かるのですから。それは、あなたがたが洗練されているからではなくて、ただ、あなたがたが書を読んだからです。私たちは終わりを知っています。ところで、ヘブル語では、終わりはこっち（日本語聖書と同じ、右から左）なんです！



ヒラリー・クリントン（左）とムアンマル・アル=カダフィー（右）

面白い事に、ヒラリー・クリントンがオバマの最初の政権で国務長官だった時、彼女は大統領選出馬を計画していました。もちろん、後半ですよ？覚えていますか？そして、彼女の顧問の一人が、こう言ったのです。

「世界の舞台に出るチケットを手に入れるためには、何らかの戦争が必要だ。あなたが、何か正しいことを行なって、悪を取り除いたかのように見せるのです。」

そして彼女のところには、ヨーロッパの指導者たちからの「ムアンマル・アル=カダフィーが金のディナールの新しい通貨を発行しようとしている」という苦情が届くようになります。これはオイルダラーに置き換えられ、そしてヨーロッパ、特にフランスの、リビアやあの地域での投資を破綻させることになるのです。そこで彼女は、「私が NATO に、ムアンマル・アル=カダフィーを排除するように説得して、私がヨーロッパを救いましょう。私が世界を救い、私がドルを救い、私がウォールストリートを救い、私が銀行を救います！」

と考えたのです。そこで彼らはそこへ行き、彼を排除し、彼女はテレビ局に行き、笑いながら言いました。

「我々は行き、見て、彼を殺し、彼は死にました。それだけよ。嬉しいわ！」

その後、何が起こったかという、あれ以来、300 万人が死に、そして、アフリカからヨーロッパへ侵略するのを止めていた栓が取り去られました。カダフィーは、ヨーロッパに警告していたのです。

「もし、あなたがたが私と協力しないのなら、あなたがたの所に流れ込む。」

しかし彼らは、全く意に介していませんでした。彼が本当にそれを行うとは、全く思っていなかったのです。といっても、彼は何もしていませんよ。彼らが、カダフィーを殺したのですから。それが今では、毎月 10 万人以上の人がヨーロッパに流れ込んでいます。ほとんどがアフリカからです。「彼らはシリアからの難民だ」と皆言っていますが、これは大嘘です。シリア難民は、ヨルダンかレバノン、トルコにいます。彼らはあちらの大きな収容所に入れられているのです。それより先に行けたのは、ほんの少数です。ヨーロッパに流れ込んでいるのは、

ほとんどがアフリカ人です。物凄く興味深いのは、…この船を見てください。全員アフリカ人ですよ。そして、難民をいっぱい乗せた船がリビアを出ると同時に、彼らをそこに連れ込む人たちはお金を受け取ります。——マフィアです。イタリアのマフィアが大きく関わって、そこに投資しているのです。こういった人たちはお金を払っているんですよ。この人たちは、ヨーロッパに逃げ込むためにお金を払いますから。膨大な金額ですよ。よく考えてみてください。例えば、一人 100 ドルとして、毎月 10 万人。計算できますか？（書記注：日本円に換算すると、1 ドル 105 円として、105 円×100×100,000 人=10 億 5 千万円！）これで、誰もが彼らをリビアから出して、ヨーロッパへ行かせたい、本当の理由が分かって来ましたね？そして同時に、救助船がイタリアを出て、そこに向かい、この人たちは救助されます。そしてこれらの救助船は、ジョージ・ソロスのような、ヨーロッパのすべての国境を取り払うことを企んでいる人間から、資金提供を受けているわけです。ですから、これらの人たちは、ある所からお金を得ていて、こっちの人たちもある所から資金を得ている。そして、その間に挟まれたこの人たちは、奴隷として売られるのです。現代の奴隷制度です。それで、何が起こったのかといえば、ヨーロッパの危機です。しかもソロスは、それを認めているのです。ソロスの言葉を見てください。

「国境は障害だ。」

皆さん、後でもっと掘り下げて行けば、どんどん情報が出て来ますよ。この後、移民で儲ける勢力に、マスターカードが加わりました。この危機によって、ヨーロッパはそれに立ち向かう力を失い、自殺寸前になりました。それによって、分断が起りました。国内での分断です。



リビアから出るアフリカ人のボート（左）とジョージ・ソロス（右）



「ドイツのための選択肢」のロゴ

ヨーロッパ国家は、難民危機によって、キーサミットの前に深く分裂しました。興味深いのは、混ぜり合わない粘土と鉄の二本の足を覚えていらっしやるのでしょうか？（ダニエル書 2 章 33 節、41～43 節参照）これらは混ぜり合う事がないのです。彼らは、すでに分裂しています。ポーランド、ハンガリー、チェコ共和国、スロヴェニア、その他の東側の国々が、国境を開放することを拒んだために、不法移民によって、ヨーロッパ連合は分断しました。これは

ダニエルが解き明かした、ネブカデネザルの夢です。彼らは、鉄と粘土で出来た二本の足、そして、石が彼らを滅ぼします。

皆さん、ヨーロッパは政治的に巨大勢力となるべく、加速しています。軍事的にも、同様です。ローマ帝国以来初めて、ヨーロッパには「小さな皇帝」と「巨大軍隊」が存在しています。ユンケル委員長（書記注：ジャン＝クロード・ユンケル 欧州委員会委員長。1954 年～。欧州委員会委員長は、2014 年 11 月 1 日より就任。）は 2017 年 9 月 13 日に行われた一般教書演説において、次のように述べました。

「（彼の）計画は、欧州連合全域にわたる軍隊に対するもので、これは、有権者の承諾がなくても押し進める意向である。」

それだけではありません。欧州委員会と、欧州理事会の会長職を統合させて、欧州の統率力を一人の人間による権力に変革し、強固にすることを命じました。次の指導者は、あらゆる権威をその手に握ることになります。ローマ帝国の崩壊以来、そのような形で西ヨーロッ



ユンケル 欧州委員会委員長



フランチェスコ・アイエツ画
「エルサレム神殿の破壊」(上)と
ローマ帝国の最大領域(下)

パを支配した皇帝は、一人もいませんでした。西暦 70 年にエルサレムを滅ぼしたのは、ローマ帝国です。そして興味深いのは、その後どうなったかといえば、395 年、それは消滅しましたが、その栄光の大きさは、この帝国の大きさを見てください。かなり大きいですよ。それからもちろん、帝国は分断されました。395 年、西ローマ帝国と、ビザンチン帝国に分断しました。ビザンチンとは、ビザンチウムに由来していて、それは現在のイスタンブールです。西ローマ帝国はわずか 100 年と続かず、ご覧の通り、ほとんどがドイツ、フランス、スペインです。一方、ビザンチン帝国はイタリアから東側、ギリシャに向かってマケドニア、トルコ、それから南下してイスラエル、エジプトです。さて、皆さんは覚えていらっしゃるでしょうか。ヒトラーは初め、自身を「第三帝国」と呼びました。「Das Dritte Reich」そこで私は、何故彼は自分を第三と呼んだのだろうか?と思いました。第一でなく?少なくとも、第二とか?だから私は、歴史を深く掘り下げてみることにして、そこで発見したことに驚愕しました。800~1806 年まで、地図を見るとヨーロッパのこの地域一帯が「第一帝国」と呼ばれていたのです。そしてそこは「神聖ローマ帝国」だったのです。彼らは

自らを「神聖ローマ帝国」と呼んでいました。そこにローマはありませんでしたが、名前はそのまま残したのです。面白いですね。

そして、1871~1918 年までがドイツ帝国です。ドイツ人たちはこれを「第二帝国」と考えていました。二番目です。そして 1923 年に、ドイツ人作家のアルトゥール・メラー・ファン・デン・ブルックの著書「Das Dritte Reich」(第三帝国論)の中のイデオロギーは、ナチス政党に大きな影響を与えたのです。その中で、「国家権利拡大の理想」が明確に述べられており、それは第一次



アドルフ・ヒトラー(左)と神聖ローマ帝国の地図(右)

世界大戦の終わりに屈辱を与えたベルサイユ条約から、死に物狂いで回復するために、ドイツ中に反響を巻き起こしました。そして、1933 年、ナチス党が当選。ご存知の通り、彼らは自らを「第三帝国」と呼びました。これは、西ヨーロッパの領土ほとんどを占領するために、その栄光がはるばるモスクワにまで届きそうでした。面白い事に、多くの人がヒトラーはベルリンで死んだと信じていますが、私はそうは信じていません。事実、ベルリンの彼の地下壕から不思議なトンネルが発見されています。それはベルリンの空港まで真っ直ぐ続いていました。私たちのところには、飛行機に乗っていたある男性の記録があります。その飛行機は、あちらの格納庫にありました。そしてそれは離陸し、スペインに着陸、そこから彼は、ドイツの U ボート(旧ドイツ軍の潜水艦)に乗って、はるばる北米まで行きました。その異なる場所で、彼は少なくとも 5 回は目撃されています。彼は、場所から場所へと転々と移動させられ、——ところで、最終的に彼は死にましたよ?私は、彼がまだ生きているとは思いません。私はそこまで馬鹿ではありませんよ。ただ、皆さんにお伝えしたいのは、彼は旅の途中で、一つのナチスから別のナチスへ、また別のナチスへと移動しながら、当時彼は南米に住んでいたのです。そこで彼らは、「第四帝国」の準備をしていました。信じがたいかもしれませんが、ドイツは自身の首都にサタンの王座を持ち込んだ国です。皆さん、ご存知かどうか分かりませんが、ドイツには、ある博物館があって、名前は、ペルガモン博物館です。そこがペルガモン博物館と呼ばれる所以は、あの大きな部分が今日のトルコであるペルガモから

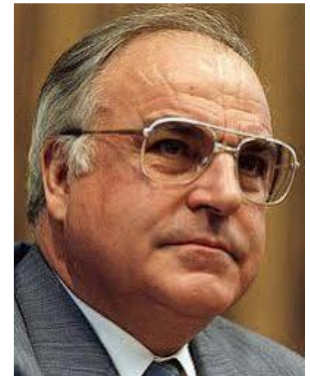


ゼウス神殿(左)とイシュタル門(右)

かのように！彼らが、最大のユダヤ人大虐殺を統率したとしても、私は驚きませんよ。それだけでなく、「バビロンは現在ヨーロッパにある」と宣言するために、彼らはバビロンの「イシュタル門」も、まさに同じ博物館に、そのままベルリンに持ち込みました。

Foreign Policy 誌が伝えたのは、

「ドイツは秘密裏に、その指揮下のヨーロッパ軍を建て上げ中。」
 ヨーロッパ軍です。ドイツ統一の父の一人である、ヘルムート・コール（書記注:1930～2017 第6代ドイツ連邦共和国首相。在任期間 1982～1998）は、壁が崩壊した当時、ドイツの首相でしたが、数か月前、彼は年老いて亡くなりました。そこで私は、ドイツが盛大な葬儀を行うのだと思っていました。驚いたことに、彼らはドイツには連れて行かず、フランスのストラスブールにある欧州議会に連れて行って、ヨーロッパの旗で包んだのです。世はこのようにして彼を讃えたのです。あたかもドイツは、ただ単にドイツだけでなく、全ヨーロッパの指導者であるかのように。



ヘルムート・コール(上)と、
 欧州議会での彼の葬儀(下)

ヨーロッパで行われた最新の調査で、人々はあまり安全だと感じていない事が分かりました。

【パリやベルリン、ブリュッセルで起こったようなテロが、あなたの国で起こる可能性はどれほどだと思いますか？】という質問に対して、

- 非常に高い 37%
- いくらか有り得る 48%

85%以上の方が、ヨーロッパは安全ではない、と思っています。興味深いですね。ヨーロッパ市民は危険を感じているのです。

【あなたの国に入って来る、不法移民の問題は、どれほど深刻だと思っていますか？】

- 非常に深刻 50%
- いくらか深刻 31%

81%が、これは問題だと思っています。

【次の組織をどれほど信頼していますか？】

1) 自分たちの政府

9%が「非常に信頼している」と答えています。言い方を変えましょう。

51%が「全く信頼していない」と答えました。

皆さん、彼らは自分たちの政府を信頼せず、安全だと感じておらず、自分たちの地域が非常な危機的状態にある、と考えています。無秩序、絶望、失望は、救い主を求めるためには必要不可欠で、彼が表に出て来た瞬間に、人々は彼を受け入れるでしょう。言っておきますが、彼らは“人口自殺”に苦しんでいるのです。彼らには、こういった人たちが気に入らないのも、納得です。著名なワシントン DC 公共倫理政策の上級研究員 George Weigel は次のように述べています。

「ヨーロッパは人口自殺を図っている。組織的に自ら人口減少させ、英国の歴史学者ニール・ファーガソンはこれを『14 世紀の黒死病以来、ヨーロッパで継続する最大の人口減少』と呼んでいる。新しい世代を生み出すという、最も根本的な感覚で将来を創り出すことを渋るのは、移民同化の苦難や、財政圧迫を含めて、複数あるヨーロッパの問題の根源だ。大陸全体が、未だかつてなかった程に健康で、豊かで、かつ安全である時に、意図的に乏しさを選ぶなら、そのもっとも基本的な原因は、人間の霊的領域にある。存在の謎そのものに対する、ある種の幻滅だ。」

彼が欧州議会で、イタリアの議員のところに行くと、その議員たちは言いました。

「私たちは、自分たちがもう終わっていることは分かっている。我々は物事を整えて、寝床で安らかに死ぬるようにしているんだ。アメリカ人が来て、かき回さないでくれ。」

ヨーロッパ最大経済の首相や大統領、世界的な独占クラブの G7 のヨーロッパ指導者たちはみな、子どもがいないことをご存知でしたか？メルケルには子どもがいない事をご存知でしたか？テリーザ・メイにも、イタリアの首相（パオロ・ジェンティローニ）も、フランスのエマニュエル・マクロンにも子どもがいません。それに加えて、ルクセンブルク、それからオランダの首相もです。欧州連合の創設メンバー6ヶ国のうち、5ヶ国が現在、子どものいない首相や大統領によって統率されているのです。彼らはもはや、家族を信じていません。また、ヨーロッパでは道徳が後退しています。彼らは、いのちの神聖さを信じていません。Charlie Gard の話は有名ですが、珍しい病気に苦しんだ小さな赤ん坊です。彼の事例はヨーロッパで、イギリスの裁判所に持ち込まれました。アメリカは、実験的治療を提案しました。しかし裁判所は「No」と言い、彼を見放し、生命維持装置を取り外すよう命じたのです。裁判所が！生命維持装置を外せと命じたのです！彼がアメリカに渡って生きるためのチャンスを、微塵も与えなかったのです。



サタンを讃えるエンブレム (左) と、英国国教会で

これでもまだ足りなければ、ロンドンで行われたファッションショーをご覧ください。彼のネックレスのエンブレムには「Nostri Satanas Luciferi Excelsi」と書かれています。彼らはサタンを堂々と、公に賛美しているのです。しかもここは、英国国教会の祭壇です。

英国歴史学者のアーノルド・トインビー (1889~1975) は言いました。

「国々は、この世の問題の解決策を差し出す者なら誰にでも、世の王国を与える用意が出来ている。」

国連総会の初代議長ポール＝アンリ・シャルル・スパーク (1899~1972) は、ベルギーの首相でもあり、またヨーロッパ共同市場の初期立案者の一人でもありました。彼は次のように言って肯定しています。

「我々には、新たな委員会はいらない。すでに多数あり過ぎる。我々が求めているのは、人々の忠誠を得るだけの十分な水準を有し、沈みつつある経済的困難から、我々を引き上げることの出来る、一人の人物だ。そのような者をよこしなさい。神であれ、悪魔であれ、我々は彼を受け入れよう。」

ということで、危機を創り出し、分裂を生み出し、そして今度は、希望を差し出します。

そして、その希望は若く、ハンサムで、一切経験のない者でなければならない。一人目は、2015年に実験を始めました。アレクシス・ツイプラス。43歳。ギリシャの首相です。そして2017年5月、39歳のエマニュエル・マクロン。それから10月には、セバスチャン・クルツ、31歳のオーストリア首相です！どんどん、どんどん若くなっていきます。もはや、年配のヨーロッパエリートたちは、信頼されていないからです。そこで私は思うのです。次に、誰がヨーロッパ全土を支配するのだろうか？



アレクシス・ツイプラス(左)とセバスチャン・クルツ(右)

そこで、皆さんはどう思われるでしょうか？ヨーロッパ人指導者が、メシアとして受け入れられるなんて、あり得るのか？こちらをご覧ください。それがどうして可能なのか、例をご覧ください。ナポレオンは、——オークションで、彼の肖像画入りのコインが見つかりました。「ナポレオン皇帝、王」彼を見てください。

「Napoleon EMP ET ROI」メダルの表側には、彼の肖像画があり、その周りに「ナポレオン、皇帝、王」と書かれています。

次に、コインをひっくり返すと、ナポレオンが皇帝服を着て、ひざまずくフランス系ユダヤ人に、十戒の板を授与している様子と、その肖像の下には「Grand Sanhedrin/大サンヘドリン」の文字と、ナポレオンが実際に召集した日付が刻まれています。



ナポレオンのコインの表(左)と裏(右)

皆さん、ユダヤ人がヨーロッパ人指導者にひざまずいて、十戒を受け取っているのです。反キリストが来たときには、——彼は来ますよ。それも、すぐに。ユダヤ人たちは、彼を受け入れます。なぜなら、彼が非常に厄介な場所に平和をもたらすからです。そして彼は、彼らにエルサレムを維持させ、その上、神殿を建て、そこで礼拝することを認めるのです。すごいですね。これらが、私たちの周りで起こっていることを、覚えておかなければなりません。そして、コロサイ人への手紙 3:1~2には、こうあります。

皆さん、ユダヤ人がヨーロッパ人指導者にひざまずいて、十戒を受け取っているのです。反キリストが来たときには、——彼は来ますよ。それも、すぐに。ユダヤ人たちは、彼を受け入れます。なぜなら、彼が非常に厄介な場所に平和をもたらすからです。そして彼は、彼らにエルサレムを維持させ、その上、神殿を建て、そこで礼拝することを認めるのです。すごいですね。これらが、私たちの周りで起こっていることを、覚えておかなければなりません。そして、コロサイ人への手紙 3:1~2には、こうあります。

- 1 **こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。**
- 2 **あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。**

(コロサイ 3:1~2)

反キリストに震え上がる代わりに、私たちがしなければならぬのは？私たちは、イエスを見なければなりません。私たちの信仰の創始者であり、完成者です。彼は、ヨーロッパに希望をもたらすためには来ません。彼は、

既に世に希望をもたらすために来られました。彼らが、彼を拒絶するのです。彼らが、サタンを求めるのです。彼らはサタンを歓迎し、彼らはサタンを自慢します。そしてサタンは、人の姿をして来ます。私たちは、イエスを見上げなければなりません。ピリピ人への手紙 3 : 20~21

20 …私たちの国籍は天にあります。そこから主イエスが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。

21 キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。

(ピリピ 3:20~21)

これが、私たちの希望です。だから私たちは覚えておかなければなりません。聖書には、彼がどういう者かを告げています。そして私たちは、その日が近づいているのを目にしています。また、それが見えたなら、ヘブル 10 章にはこうあります。

23 約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。

(ヘブル 10:23)

アーメン？

ということで、皆さん、怖くなりましたか？ そうでないことを望みますが。以上が、どれほどヨーロッパが反キリストの興りに近づいているのかの基本的なところでした。中東は、エゼキエル戦争への準備が来ています。ヨーロッパは、エゼキエル戦争の後、平和をもたらす準備が来ています。そして、私たちは、我々のからだがこの世から贖われるのを待ち望んでいます。アーメン？

では最後の数分間で、聖書預言におけるフィリピンの役割についてお話したいと思います。皆さんも、これを知っておくべきだと、私は心底信じていますから。私たちがもうすでに認識しているのは、聖書預言は何が全てでしたか？——メシアが全てです。創世記 3:15 から、全てはメシアについてです。そして、ポイントは「女の子孫」(the Seed of the Woman) でしたね？覚えていますか？

「女の子孫」どうしましたか？誰かがくしゃみした？大きなくしゃみ？私は、聞き逃してしまいましたね？自分のくしゃみを自慢していますから(笑)。ともかく。皆さん、聖書の中に、フィリピンは見つかりますか？…違います、違います！お願いしますよ！ピリピ人への手紙？(笑)それは最低記録ですよ。ヒー！ピリピはピリピで、別の場所(書記注:東マケドニアの古代都市。紀元前 356 年にピリッポス 2 世によって創建され、14 世紀にオスマン帝国に征服された後、廃れた。)。フィリピンですよ？皆さん、私たちの誰もが知る通り、フィリピンはフィリピンとしては聖書に出て来ません。何故でしょう？それは、近代の呼び名だからですよ。聖書の中の名前が、全て現在使われているわけではありませんからね。ところで、この名前はどこから来たのでしょうか？スペインの王、フェリペ 2 世(書記注:1527~1598) ですね。そうです。実際は、元々はレイテ島とサマル島だけがフィリピナスと呼ばれたのが始まりで、その後、当時フェリペはまだ王ではなく王子でしたが、それが後に「ラス・フィリピナス諸島」が 7,000 以上の全諸島を示す名前に使われるようになりました。しかし、始まりはサマルとレイテ——これらが、その名前を受け取った元々の島でした。サマル島出身の方はこの中にいらっしゃいますか？レイテ出身の方は？ワ～オ、あなたがたが最初ですよ！さて、皆さん、スペインの地図では、彼らが来る前、探検家たちを島に導いた、スペインの地図上の名前は「オフィル」(書記注:I 列王記 9:28、10:11 を参照。金の産地。) でした。皆さん、ご存知でしたか？どれぐらいの方がこれをご存知でしたか？

聖書の「オフィル」と言う名前が、スペインの地図に登場し、それはフィリピンを指していたのです。

「オフィル」ところで、オフィルは、創世記に人の名前として登場し（書記注：創世記 10:29、ヨクタンの子として記されている。）、その後、預言書まで、金が豊富に採れる場所として登場します。そうです。ということで、そこから始まりました。ところで、イザヤ書 24 章と 42 章の両方に、島々でも主の御名が褒め称えられる、という美しい描写が出て来ます。どうして、皆さんの好奇心を削ぐようなことをやってしまったんでしょう！今日の話は、それじゃなかったのですが、皆さんがすごく聞きたそうだったから（笑）。聖書には、こうあります。ヘブル語では、このようになっています。

- 14 彼らは、声を張り上げて喜び歌い、海の向こうから主の威光をたたえて叫ぶ。
 15 それゆえ、東の国々で主をあがめ、西の島々（ヘブル語では海の島々）で、イスラエルの神、主の御名をあがめよ。

（イザヤ 24:13~15）

これはフィリピンだ、と言う人もいます。私も、それも考えられると思います。イスラエルの失われた部族も、少なくとも何人かがここに辿り着いている可能性も高いと思います。もし、皆さんが DNA 検査を受けると、たくさんの人の中にユダヤ人の血が混じっていて、驚くと思いますよ。ただ、フィリピンが聖書預言の中で重要な役目を果たす、と私が思う理由をお伝えすると、聖書預言が何であるかを理解すれば、それはメシアについて語っている、ということを理解すれば、それはイスラエルの王について語られていて、彼が初めにイスラエルに来られた初臨について、彼らの拒絶は、皆さんが受け入れられるためである、と語っています。彼の来臨について語っています。彼はエルサレムに戻って来る、彼はイスラエルに戻って来られる、と。この全てが意味するところは、ユダヤ人が生き残るということ、イスラエルが彼らの手に残り、そしてエルサレムの都が回復されて、彼らの手に戻る、ということです。そういう意味です。皆さんは、それを当たり前のように思っているかもしれませんが、70 年前までは、このどれもが不可能に思えたのです。皆さん、私たちの人種は、大量殺戮されたのですよ。それも、宗教的な狂信者ではなく、自分たちを「啓発された者」と呼ぶ人たち、最高の学歴を有する人たち、最高の生活水準の中に生きている人たち、ヨーロッパの上流階級の人たちによってです。私たちは、彼らの経済の重荷になっていたわけではなく、我々が彼らの経済だったのです。それでも我々は、大虐殺されるに至りました。それは、ドイツから始まりました。殺戮、国外退去、追放。それが、1934 年、1935 年、1936 年。そして 1938 年、ドイツはオーストリアを併合し、1939 年、ドイツはポーランドを侵略しました。このときには、ポーランドのユダヤ人たちは、自分たちの家から追放され、混とんとしていました。しかし、まさにこのために、ドイツが、ユダヤ人にしてきた事に関して、パリで何かが起こりました。事態は、19 歳の若者がパリのドイツ大使館に入ったことから始まります。彼が受け取った、家族からの手紙には、彼らが殺され、国外追放されていると書かれていたのです。19 歳、ユダヤ人の若者であった彼は、非常に怒り、銃を持って、ドイツ人の外交官を殺害しました。



水晶の夜事件

それによって、オーストリア、ドイツ帝国全土で、ユダヤ人に対する暴力に火がつけました。皆さん、一晩のうちに、250 軒のシナゴークが焼かれ、7,000 軒のユダヤ人の経営する店舗がめちゃくちゃにされ、強奪され、何百人という数のユダヤ人が実際に殺されました。それから、ユダヤ人の墓地、病院、学校や家は、警察や消防隊が傍観する中で、強奪されました。これらのユダヤ人大虐殺は「水晶の夜」で知られています。砕け散ったガラス（Kristall/水晶）の夜（nacht）です。砕け散ったガラスは、道端に散乱した店の窓ガラスでした。翌日、3 万人以上のユダヤ人が、「ユダヤ人である」という罪で逮捕され、強制収容所に送られました。ユ

ダヤ人の女性たちも逮捕され、地域の刑務所に送られ、ユダヤ人の経営する店は、非ユダヤ人によって運営されない限り再開を許可されず、夜間外出禁止令がユダヤ人に課せられ、外出できる時間は昼だけに制限されました。水晶の夜から一か月後、ヨーロッパでユダヤ人に対して行なわれている事に抗議デモが起こったのは、アメリカでもヨーロッパでもなく、マニラでした。当時、フィリピンの連邦大統領だったマニユエル・ケソン（書記注：1878～1944 フィリピン独立準備政府初代大統領。20 ペソ紙幣に肖像画が使用されている。）がそれを耳にしました。



マニユエル・ケソンの肖像画が使用されている 20 ペソ

彼は人々に「何故こんな事をしているのか？」と尋ねたのです。そして彼は、ユダヤ人たちに何が起きているのかを知りました。時は 1939 年、世界はまだナチスの意図に気づいていませんでした。最終解決策は 1941 年です。ですから、1939 年当時は、誰もまだユダヤ人問題に敏感になっておらず、それに関わろうとする人は、誰一人としていなかったのです。誰も。それがフィリピンでは、マニユエル・ケソンの指導下で、ナチスの人種差別政権によって国籍を失ったユダヤ人達——少なくとも 1,200 人、恐らく 1,300 人の避難所となったのです。ケソンは、ここに住んで葉巻工場を経営していたユダヤ系アメリカ人の一家と協力し、その工場での労働者として、ユダヤ人たちをこちらに連れて来ました。事実、彼の中では 1 万人のユダヤ人を想定して、その事業のために、ミンダナオ島にあった彼自身の土地を与えています。残念ながら、日本の侵略によって、その計画は中断され、1,300 人のユダヤ人だけが救われました。しかし、マニラは誇りに思っているに違いないでしょう。フィリピンは誇りに思うべきです。皆さんはユダヤ人のいのちを、誰も救おうとしていなかった時に、救ったのです。例えば、その数か月前の 1939 年 5 月 13 日、900 人以上のユダヤ人が、セント・ルイスという豪華客船に乗って、ドイツを逃れました。彼らはキューバに到達することを願い、また、彼らはアメリカにも行きました。キューバは「No」と言い、アメリカも「No」、カナダも「No」と言いました。船は戻らざるを得ず、彼らのうち 250 人以上が、ナチスによって殺されました。世界が、彼らに何が待ち受けているのかを理解しながらも、ユダヤ人たちの目の前で門戸を閉ざしていた時代に、フィリピンはユダヤ人を救うという光栄に与った、選ばれた人たちです。これは、まだイスラエルが再建される前の話です。これは「イスラエル国家」の救済ではなく、ユダヤ人の救いでした。イエスは、マタイ 25 章で、どのように国々は羊と山羊に分けられるのかについて語っておられます。大患難時代の、彼の兄弟の最も小さい者に対する行いによって、分けられます。ユダヤ人たちは、大患難時代、また反ユダヤ主義によって苦しめられます。その時に、彼らを助けた人々、国々だけが「羊」と呼ばれ、御国に入ることを許されます。

トランプ第 45 代米大統領 (左) と
ドゥテルテ比大統領 (右)

フィリピンが行なった、二つ目の事。イスラエル故国を、ユダヤ人国家と認めることに賛成した、最初であり、唯一のアジアの国です。（会場拍手）1947 年 11 月 29 日、国連総会の決議 181 に、フィリピンは最終的に…最初は反対するつもりでしたが、最終的に、説得されて賛成し、アジアで唯一、賛成した国となりました。ですから、神は、ユダヤ人を救うためだけでなく、ユダヤ人たちが故国へ戻り、国家を創設するのを支援するためにも、フィリピンを用いられたのです。これだけで足りないなら、数週間前、トランプ米大統領が、「エルサレムはイスラエルの首都である」と宣言すると、直ちに、パレスチナ人たちは、「地獄の火蓋が切って落とされる、世が終わる」と言いましたが、世は続き、不満に思っているのは彼らだけである、という

ことが分かりました。スンニ派界のほとんどは、言葉での支援はしました。しかし現実にはサウジもエジプトも、彼らに対して、エルサレムが彼らの首都でなくても構わない、と明確に告げています。実際、彼らにはラマツラやアブディス、もしくは別の場所が提案されました。ともかく、彼らには彼らの望む通りの支援がないのです。そして数週間前、国連でその投票が行われた時、フィリピンは、トランプ宣言を拒否するために賛成票を投じることも、あるいはトランプ宣言を受け入れるために反対票を投じることも出来たのです。しかしフィリピンは、棄権することを選びました。つまり、「私たちはトランプ宣言で構いません」ということです。

「それで良い。ただ、我々は、国民の多くが働いているアラブ諸国内で、彼らが暴力の対象にならないようにするために、『それで良い』とは言えないのだ。」

ですから、現実には、フィリピンはそれに反対せず、静かに「賛成だ」と言ったのです。皆さん、ドゥテルテ大統領は元々、トランプ大統領のあの発言の直後に、大使館を移動させようとしていたのです。しかし、彼の顧問の全員が「待て！」と言いました。

「あまりにも多くのフィリピン人を危険に晒すことになる。」「今は、賢明ではない」と。そこで彼らは沈黙したのです。そして時が来たとき、フィリピンは棄権し、自動的に他の国に同調するようなことはしませんでした。

そして、最後がこれです。

皆さん、私がとても残念に思うのは、——イスラエルを愛するクリスチャンは世界中にたくさんいます。これは、とても素晴らしい事ですよ。素敵な事です。しかし、彼らはユダヤ人に福音を伝える必要性を信じていません。彼らはそれをしないのです。アメリカの有名な牧師の何人かは、ユダヤ人にイエスが必要だという事さえ信じていません。彼らは、「二契約神学」を信じているのです。ユダヤ人との契約と、その他の世に対する契約です。ユダヤ人は、神の民になり、救われて永遠のいのちを得るために、イエスは必要ない、と。彼らの名前は出ませんが。陰口になりますからね。裏で陰口を言うのは、私も好きですよ？(笑)冗談です。冗談ですよ。それは言いません。ただ一つだけ、皆さんに言うておきます。もし現在、イスラエルで働いているフィリピン人の人たち3万人を集めると、イスラエルで最大の教会が出来上がります。フィリピンの信者は、イスラエルのユダヤ人よりも多いのです。私は、テルアビブで、少なくともニヶ所から招待を受けて話をしたことがあります。フィリピンの人たちは、故郷から離れていると、より神に近いのです。私があちらで会った人たちは、信仰が揺るがないのです。周りに誰もいない時、依り頼めるのは主だけです。家族もおらず、友達もいない中で、彼らは互いに依り頼み、そして、主に依り頼んでいるのです。それは、見て分かります。そして、その事が、彼らを雇い、彼らに仕事を与えているイスラエル人たちに強く語っているのです。私があちらにいた時に話をした二つの場面で目撃したのは、私が話をしていた相手は、イスラエル人たちだったんです。フィリピンの人たちは、イスラエル人である自分たちの上司を招待していたのです。(会場拍手)皆さん、私が訪れたヨーロッパのどの地域でも、最もイキイキしていた教会は、フィリピン人の教会でした。(会場歓声!)どこへ行ってもです!フィリピンの人たちは、どこにでもいますから。くしゃみをすれば、フィリピン人がやって来る(笑)。世界中どこでも。すごい事ですよ。故郷から離れているということで、彼らを、神により近くさせるのでしょうか。イスラエルにいるフィリピン人たち以上に、異国で活発に福音を宣べ伝えている国は、ないと思います。ですから、皆さんは、ユダヤ人が迫害されている時に助けただけではありません。皆さんは、ユダヤ人たちの故国の権利を支持しただけではありません。誰かが、そこを自分の首都だと言うのを見過ごさなただけでなく、皆さんはさらに、キリストから離れては何にも出来ないこと、彼らも、彼らのメシアを知らなければならない事を理解しています。ですから、聖書預言におけるフィリピンの役割は何か、と聞かれるなら、一つお伝えします。私は、神がこの国の

上に、特別に御手を置いておられる、と思っています。皆さんを、啓示をもたらすように定めておられる。なぜなら、イエスが、

32 異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの光栄

(ルカ 2:32)

だからです。覚えていてください。皆さんは、イスラエル人たちの支えになるよう、定められているのです。肉体的領域だけでなく、霊的にもです。皆さん、これは物凄く大きな責任ですよ。しかし同時に、個々人がその法則に従わないなら、国に与えられた責任は何の意味もないのです。お分かりですか？私は心の底から、そう信じています。私は、20年前に初めてここを訪れました。何故だか分かりません。ただ、私が神の御言葉を教えるために、初めて訪れた外国はフィリピンでした。20年前、私は5歳でした(笑)いや、…違いますね。少なくとも、私は10歳にはなっていました(笑)。今、鼻で笑いましたね(笑)。皆さん、私は20年前にここに到着した二日後に死にかけたのです。飛行機でマニラの病院に運ばれ、車いすに乗せられて、死んだと思いましたよ。でもあの日から、神が、私の心にこの国に対する特別な思いを置かれたのが、分かるのです。私は毎年、ここを訪れています。皆さん、神はこの国に特別なご計画を持っておられますよ。それから、皆さんの仕事は、…もし、あなたが本当の信者ならば、キリストの来臨に対して、皆さんの国を備えるのが、あなたの仕事です。なぜかと言えば、大患難が起これば、フィリピンは、もうなくなります。島々がなくなりますから(黙示録 16:20 参照。)。皆さんには、重大な責任があるのを理解されていますか？ただ神の道を歩むだけでなく、皆さんの国をキリストへと導くのです。あなたに与えられた、権威の外套の下にです。皆さんに与えられている特権とは、神のご計画の中で、重要な役割を演じることです。イスラエルの回復、ユダヤ人の故国、都への帰還、キリストの来臨。素晴らしい特権、素晴らしい責任、素晴らしい使命が、皆さんには与えられているのです。

お父様、この素晴らしい国をありがとうございます。私はこの国を出る時、いつも、ここに想いを残します。お父様、あなたは、この国で素晴らしいことを始められました。あなたは、数多くある国の中からこの国を選び、あなたの民、イスラエルの回復に際して、大きな役割を任せられました。あなたが、その素晴らしい働きを始められました。どうか、聖霊の力によって、この教会と他の教会の人たちの働きを助け、この素晴らしい業を完成させてください。この美しく、見事な国をあなたの元へお導きください。そして、フィリピンはイエスのものであると、宣言させてください。お父様、この国のこの町で、自由にあなたを賛美できる、この特権に感謝します。お父様。年頭の月、聖書の最初の月を、大胆に宣言した大統領をありがとうございます。地球上のどの国にも、それを宣言した者は他にいません。お父様、あなたは、あなたの御手をこの地の上に置かれました。そのようなことを行う指導者を、あなたが立てられました。あなたは、過去にも、ユダヤ人を救う指導者を立てられました。今、あなたは、この国をあなたの元に回復するために、人々を立てておられます。私たちは、あなたが行なおうとされていることを、大いに期待して待っています。約束された方は、真実であられることを、私たちは知っていますから。マニラより、あなたに感謝し、あなたを祝福します。あなたを愛しています。この全てを、他にない、最も美しい御名、イスラエルの聖なる方、王の王、主の主、神の獅子、神の小羊、平和の君、インマヌエル、イエシュア、イエスの御名によって祈ります。

全て、神の民は言います。

アーメン。

2018年3月3日 初回公開

【写真出典一覧】


- ・ダニエル書 2 章のネブカデネザルが見た夢の像 : Behold Israel 動画「ヨーロッパ 反キリストにさらに近づいている」より
- ・欧州議会: 「トリップアドバイザー日本」のウェブサイト
- ・欧州連合議会の獣に乗った女 (エウロペ) の像 : 「NAVER まとめ・欧州連合議会のロゴ」
- ・アルベルト・アインシュタイン : アーサー・サス (INS 通信記者) が、アインシュタインの 72 歳の誕生日に撮ったもの。
- ・デイヴィッド・ロックフェラー : Wikipedia 「デイビッド・ロックフェラー」
- ・ラリー・マクドナルド : Wikipedia “Larry McDonald”
- ・大韓航空機撃墜事件の航路 : Wikipedia 「大韓航空機撃墜事件」
- ・オバマ第 44 代米大統領 : Wikipedia 「バラク・オバマ」
- ・エマニュエル・マクロン仏大統領 : Wikipedia 「エマニュエル・マクロン」
- ・エコノミスト表紙 : The Economist “Europe’ s savior?” 2017. June. 17
- ・ヒラリー・クリントン : Wikipedia 「ヒラリー・クリントン」
- ・ムアンマル・アル・カダフィー : 「NAVER まとめ・日本の移民政策 (移民受け入れ) は必ず失敗する—ヨーロッパの深刻な移民問題とは？」 2017. 1. 24
- ・リビアから出るアフリカ人のボート : ナショナルジオグラフィック 「ボートに 150 人！地中海の難民救助に密着した—リビアからゴムボートでヨーロッパを目指すアフリカ難民に密着」 2016. 09. 15
- ・ジョージ・ソロス : Wikipedia 「ジョージ・ソロス」
- ・「ドイツのための選択肢」のロゴ : Wikipedia 「ドイツのための選択肢」
- ・ユンケル欧州委員会委員長 : Wikipedia 「ジャン=クロード・ユンケル」
- ・フランチェスコ・アイエツ画「エルサレム神殿の破壊」 : Wikipedia 「エルサレム攻囲戦」
- ・ローマ帝国の最大領域 : 「NAVER まとめ・日本とはスケールが違う世界征服者たちの最大領土」 2013. 1. 2
- ・アドルフ・ヒトラー : Wikipedia 「アドルフ・ヒトラー」
- ・神聖ローマ帝国の地図 : 世界の歴史まっぷ「ハプスブルク家」
- ・ゼウス神殿&イシュタル門 : Wikipedia 「ペルガモン博物館」
- ・ヘルムート・コール : Wikipedia 「ヘルムート・コール」
- ・欧州議会での彼の葬儀 : 朝日新聞「コール元独首相の葬儀、EUが初主催マクロン氏ら参列」 2017 年 7 月 1 日
- ・サタンを讃えるエンブレム & 英国国教会で行われたサタンのファッションショー : The Vigilant Citizen “Satanic Fashion Show Inside a Church at London Fashion Week” 2017. Sep. 19
- ・アレクシス・ツィプラス : Wikipedia 「アレクシス・ツィプラス」
- ・セバスチャン・クルツ : Wikipedia 「セバスティアン・クルツ」
- ・セバスチャン・クルツ : Wikipedia 「セバスティアン・クルツ」
- ・ナポレオンのコインの表と裏 : Wikipedia “Grand Sanhedrin”
- ・水晶の夜事件 : Wikipedia 「水晶の夜」
- ・マニュエル・ケソンの肖像画が使用されている 20 ペソ紙幣 : DAREDEMO HERO 「フィリピン紙幣から学ぶ歴史〜20 ペソ & 50 ペソ編」
- ・トランプ米大統領とドゥテルテ比大統領 : REUTERS



← スマートフォンなどのカメラで読み込むと、このメッセージを YouTube で見られます。
 ≪リンク先 : <https://youtu.be/7B3gYYzS54g> ≫



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel
<https://beholdisrael.org>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル 
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

